

# 最優秀選手賞 初優勝

男子ウェルター（69kg）級に出場した秋山佑汰 2等陸曹も初優勝をかけて今大会に臨んだ。

初戦（準々決勝）は田中空選手（東洋大学）との一戦となった。至近距離での攻撃を狙う田中空選手をステップでかわし、テクニックを駆使した秋山2曹がWP5-0で勝利した。続く準決勝の相手は石藤隆哉選手（エイベックス（株））。序盤から自分の距離を保って的確にパンチを当てるなど持ち味を発揮し、WP5-0で危なげなく決勝に進んだ。初優勝をかけて迎えた決勝、対戦相手である諏訪竜介選手（中央大学）には圧倒的な力の違いを見せつけた。終始試合を支配し続けた秋山2曹がRSC（※Referee Stop Contest）2ラウンド2分53秒で圧勝し、悲願の初優勝を取めた。本大会初優勝ながら男子の最優秀選手賞を受賞し、全日本選手権を終えた。

秋山2曹は「優勝できてよかった。やっとスタートラインに立てたので、今後は国際大会で活躍して世界に名を轟かせられる選手になりたい。」と決意を語った。



初優勝と同時に最優秀選手賞に選出された秋山2曹



巧みに攻め抜く牧野2曹

# 全日本選手権 初出場 初優勝

男子フライ（52kg）級に出場した牧野草子<sup>くさし</sup>2等陸曹は国内外初のタイトル獲得をかけて今大会に挑んだ。牧野2曹は中学時代はキックボクシングの全国大会2連覇を達成し、高校からボクシングに転向した。

初戦（準々決勝）は対戦相手の滝澤栄吉選手（日本大学）に対し、小柄ながらもリングを大きく使い相手を翻弄した。自分のボクシングスタイルを貫いた牧野2曹がWP5-0で勝利し、準決勝につなげた。準決勝では鈴木丈太郎（駒澤大学）との一戦。的確にパンチを当てながらガードを固め、WP5-0で危なげなく決勝に胸を進めた。迎えた小田切駿平選手（芦屋大学）との決勝では、自身の小柄な体格を生かしたスピード感のあるボクシングで圧倒し、WP5-0で初優勝を飾った。






牧野2曹は「ボクシングのパンチは苦手だったが、日本一を獲ったことを自信にしたい。駆け引きのなかで自分の一番やりやすいボクシングにもっていった。」と今大会を振り返り「国際大会の出場経験がないので、まずは出場した試合全てで勝ちたい。」とさらなる躍進を誓った。

## RSC : Referee Stop Contest / レフリーストップコンテスト




- ①ラウンド開始のゴングで競技ができない場合。
- ②片方の競技者に決定的な差がついている場合や劣勢な競技者が過度な打撃を受けているとレフリーが判断した場合。
- ③ダウンの後、競技を続けられないと判断された場合。
- ④打撃を受けたことによりリング外まで叩き出され、カウント8の後に手助けなく30秒以内にリングに戻れない場合。
- ⑤リングドクターのアドバイスでDS（デビュティースーパーバイザー）が競技の終了を宣告した場合。

## 総合成績（メダリスト）

### 男子

-  フライ級 牧野草子 2等陸曹（埼玉県）  
**最優秀選手賞**
-  ウェルター級 秋山佑汰 2等陸曹（大阪府）  
**優秀選手賞**
-  ミドル級 森脇唯人 3等陸曹（東京都）
-  ライトウェルター級 富田真広 3等陸曹（静岡県）
-  ミドル級 近藤 陸 陸士長（新潟県）

### 女子

-  **優秀選手賞**  
フライ級 並木月海 3等陸曹（千葉県）
-  ライト級 田口綾華 2等陸曹（兵庫県）
-  ミドル級 田中廉人 3等陸曹（愛知県）

